

静岡理科大学理工学部建築学科
公開シンポジウム

静岡建築未来学 2020

2021 / 2 / 13 sat. 13:30-17:30

ゲスト

宮本茂紀 家具モデラー／五反田製作所代表

藤江和子 家具デザイナー／藤江和子アトリエ代表

安東陽子 テキスタイルデザイナー・コーディネーター／安東陽子デザイン代表

藤森泰司 家具デザイナー／藤森泰司アトリエ代表

モデレーター

田井幹夫 建築家／静岡理科大学准教授・アーキテクトカフェ代表

コーディネート・司会

飯田 彩 編集者／Design Communicator 主宰

空間と家具をともにつくる
— 家具塾 in 静岡

静岡理科大学理工学部建築学科は、2017年4月に新設された静岡県唯一の建築学科です。昨年度より、開かれた議論の場として、公開シンポジウム「静岡建築未来学」を開催しています。

2年目となる今年度は、「空間と家具をともにつくる 家具塾 in 静岡」と題して、建築空間を家具から考えていきます。静岡は知る人ぞ知る家具生産の中心地です。森林に恵まれると同時に港から海外の木材も入って来やすく、多くの工場が存在しました。この地に現代の家具文化を生み出した立役者、そして、先進的な空間を建築家とともに生み出し続けている家具デザイナー、テキスタイルデザイナーをお招きし、建築家と協働する立場から語っていただきます。

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、会場の定員を半分にしようとして、オンライン生配信を行います。遠方の方もぜひご視聴ください。

この公開シンポジウムが、静岡県、東海地方から建築の未来を考え、発信する場となるよう、多くみなさまのご参加をお待ちしています。



enTree

会場 |

静岡理科大学 新学生ホール

静岡県袋井市豊沢 2200-2

定員 |

50名 (参加無料・申し込み制)

オンライン配信: **300名** (参加無料・申し込み制)

申し込み・問合せ | tailabo_all@sist.ac.jp

主催 | 静岡理科大学理工学部建築学科

協賛 | 脇坂圭一 石川春乃 崔琥 田井幹夫

助成 | 鈴与教育研究活動支援金運営委員会

協賛 | 総合資格学院、石川建設株式会社、有限会社エフ・スペース

*詳細は静岡理科大学ウェブサイトより

<https://www.sist.ac.jp>

登壇者プロフィール



宮本茂紀 | Shigeki MIYAMOTO 家具モデラー

1937年静岡県生まれ。1953年より斎藤椅子製作所で修行。その後、東京の三好木工、高島屋工作所、大阪の三越製作所、内外木材、北海道大島木材工芸などで椅子張り職人として活躍。1966年五反田製作所創業。1973年より渡欧し、イタリア、ドイツなどのトップメーカーでモデラーとして世界的な技術を修得。宮内庁の儀装馬車の修復から建築家のデザインする椅子まで幅広く手がけ、2007年黄綬褒章を授与される。2014年より家具塾スーパーバイザー。



Photo: Nacása & Partners

藤江和子 | Kazuko FUJIE 家具デザイナー

富山県生まれ。1969～72年宮脇檀建築研究室。1973～77年エンドウ総合装備。1977年フジエアトリエ設立。1987年藤江和子アトリエに改組、代表取締役。現在、多摩美術大学美術学部客員教授。横文彦、伊東豊雄ら建築家との協働で建築とともに空間を生み出す家具をつくり続けている。近年の代表作として、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院」の家具を手掛ける。2014年より宮本茂紀らと「家具塾」を開催、塾長を務める。



Photo: Atsushi Nakamichi

安東陽子 | Yoko ANDO テキスタイルデザイナー・コーディネーター

東京都生まれ。株式会社布での勤務を経て、2011年安東陽子デザイン設立。テキスタイル(布地)を素材や縫製技術、光や風などの自然現象、空間的要素などから緻密に考え、建築家の空間を別次元に昇華するカーテンなどを数多く手掛け、若手から巨匠に至るまで建築家の絶大な信頼を得る。伊東豊雄の「ぎふメディアコスモス」では、館内のテキスタイルをはじめ、空間の要となる空間装置「グローブ」も担当した。



藤森泰司 | Taiji FUJIMORI 家具デザイナー

埼玉県出身。1991年家具デザイナー大橋晃朗に師事。1992～98年長谷川逸子・建築計画工房。1999年藤森泰司アトリエ設立。建築家とのコラボレーション、プロダクト・空間デザインを手がける。公共施設などの特注家具、ハイブランドの製品から、オフィス、小中学校の学童家具まで幅広く活動。最近では、在宅ワークのための組み立て式家具「Work From Home」プロジェクトを自ら運営するなど、いち早く社会に寄り添う活動を進めている。

田井幹夫 | Mikio TAI 建築家

1968年東京生まれ。大学卒業後、オランダのベルラーヘ・インスティテュートに留学。1994年～99年内藤建築設計事務所。「天心記念五浦美術館」を主に担当。1999年アーキテクトカフェ設立。住空間を中心に公共建築のコンペにも数多く参加、入賞。2017年より静岡理科大学准教授。設計活動とともに建築教育にも重きを置く。「空間とアクティビティにおける中間領域」を中心テーマに据え、建築からまちづくりまで意欲的に関わる活動を行っている。

飯田 彩 | Aya IIDA 編集者

東京都生まれ。武蔵野美術大学、千葉大学大学院で建築を学ぶ。2007～11年新建築社。2012年Design Communicator主宰。書籍の企画・編集、専門誌への寄稿、シンポジウムなどの学びの場づくりを通して、建築家やデザイナー、職人などのつくり手と社会をつなぐ編集活動を行っている。

家具塾とは

家具デザイナーの藤江和子と家具モデラーの宮本茂紀を中心に、2014年に始動した学びの場。実際に建築空間に身を置き、家具に触れながら、身体と家具と空間の関係と可能性を問い直すことを趣旨とし、東京・横浜で定期的に開催している。運営サポーターとして、安東陽子、藤森泰司、田井幹夫、飯田彩、野崎みどり(藤江和子アトリエ)、水田藍(五反田製作所)が参加。活動が評価され、2018年に第4回「これからの建築士賞」を受賞。

[参加申し込み]

会場参加、オンライン視聴ともにメールでの事前申し込みが必要です。

件名を「会場参加申し込み」もしくは「オンライン視聴申し込み」として、

①氏名 ②所属 ③メールアドレス ④当日の連絡先を明記のうえ、以下のメールアドレス宛にメールをお送りください。申し込みは先着順で、定員に達し次第締め切ります。

□申し込み・問合せ | tailabo_all@sist.ac.jp

□締切 | 2021年2月11日(木)

[プログラム]

13:30- 静岡建築未来学について 田井幹夫

13:40- 基調講演「静岡の家具」 宮本茂紀

14:20- ミニレクチャー1 藤江和子

14:50- ミニレクチャー2 安東陽子

休憩

15:40- ミニレクチャー3 藤森泰司

16:10- 家具塾のこれまでの活動紹介

16:20- ディスカッション・質疑応答

17:30 終了予定

主催 | 静岡理科大学工学部建築学科

静岡県袋井市豊沢 2200-2

<https://www.sist.ac.jp/architecture/>

助成 | 鈴与教育研究活動支援金運営委員会

協賛 | 総合資格学院、石川建設株式会社、

有限会社エフ・スペース

総合資格学院

石川建設株式会社

www.ishikawa-cnst.co.jp



[会場]

静岡理科大学 新学生ホール

静岡県袋井市豊沢 2200-2



静岡理科大学キャンパス

[交通アクセス]

□お車で

東名高速道路掛川インターより約20分、

袋井インターより約30分

(キャンパス内に駐車場100台あり)

□公共交通機関で

JR東海道線袋井駅よりバスまたはタクシーで10分

JR東海道線愛野駅南口よりスクールバスで5分、

タクシーで10分

JR東海道新幹線・東海道線掛川駅よりタクシーで20分

□臨時スクールバス

各日、愛野駅南口より臨時スクールバスを運行致します。

通常のスクールバスは運行しておりませんので、ご注意ください。

*愛野駅南口→静岡理科大学

12:50 / 13:10

*静岡理科大学→愛野駅南口

17:40 / 18:00



静岡理科大学建築学科棟 えんつりー

設計: 古谷誠章+NASCA 施工: 鈴与建設 撮影: 浅川敏
コミッションング: 脇坂圭一、丸田誠



新学生ホール

設計: 403architecture [dajiba] 施工: 石川建設
設計監修: 田井幹夫、脇坂圭一

